

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-181878

(43)公開日 平成6年(1994)7月5日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

A 4 7 L 23/20

A 4 3 D 95/10

識別記号

A

庁内整理番号

7421-4F

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-354445

(22)出願日 平成4年(1992)12月15日

(71)出願人 000000952

鐘紡株式会社

東京都墨田区墨田五丁目17番4号

(72)発明者 桜井 範彦

神奈川県小田原市寿町5丁目3番28号 鐘

紡株式会社 化粧品研究所内

(72)発明者 沢田 和彦

神奈川県小田原市寿町5丁目3番28号 鐘

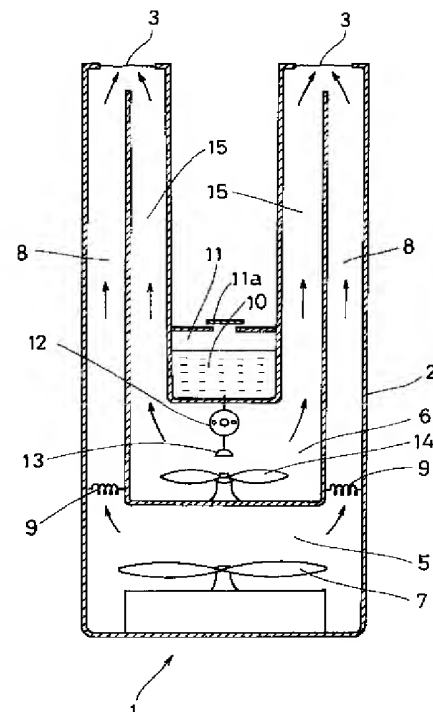
紡株式会社 化粧品研究所内

(54)【発明の名称】 靴乾燥器

(57)【要約】

【目的】 靴乾燥時に発生する悪臭を防ぎ、靴に足臭マスキング効果を付与する靴乾燥器を提供する。

【構成】 オポボナックス樹脂、ミル樹脂及びオリバナム樹脂の群から選ばれる1種以上の樹脂から得られる精油と、シトラスベース、ミュゲベース、ローズベース、ジャスミンベース及びムスクベースの香料成分の1種以上とを含有してなる香料組成物(10)を霧化するための超音波振動子(13)を配設した芳香発生室(6)及び熱風発生室(5)を内蔵するとともに、芳香発生室から送り出される霧化した香料組成物と、熱風発生室から送り出される熱風とを外部に排出する送風口を有する靴乾燥器。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 靴乾燥器（1）において、オポボナックス樹脂、ミル樹脂及びオリバナム樹脂の群から選択される1種以上の樹脂から得られる精油と、シトラスベース、ミュゲベース、ローズベース、ジャスミンベース及びムスクベースの香料成分の1種以上とを含有してなる香料組成物（10）を霧化する超音波振動子（13）を配設した芳香発生室（6）及び熱風発生室（5）を内蔵するとともに、上記芳香発生室（6）から送り出される霧化した香料組成物と、上記熱風発生室（5）から送り出される熱風とを外部に排出する送風口（3）を有することを特徴とする靴乾燥器。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、靴乾燥時に発生する靴臭を防ぐとともに、靴に足臭マスキング効果を付与する靴乾燥器に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】従来から、靴乾燥器としては、熱風を靴内部に噴射して靴を乾かす方式をとるものが多く採用されている。しかしながら、材質として天然皮革、合成皮革または布を用いた靴は、水分の吸収及び発散が良い反面、足臭のもととなる足の分泌物を吸着しやすく、それに伴う臭いもつきやすい。従って、このような靴を雨等で濡れた後に靴乾燥器で乾燥させると、悪臭が発生するという問題が発生している。

【0003】本発明は、上述のような問題に鑑みなされたもので、靴乾燥時に発生する靴臭を防ぐとともに、靴に足臭マスキング効果を付与することのできる靴乾燥器の提供を目的とするものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、本発明の靴乾燥器は次のような構成をとる。即ち、靴乾燥器において、オポボナックス樹脂、ミル樹脂及びオリバナム樹脂の群から選択される1種以上の樹脂から得られる精油と、シトラスベース、ミュゲベース、ローズベース、ジャスミンベース及びムスクベースの香料成分の1種以上とを含有してなる香料組成物を霧化する超音波振動子を配設した芳香発生室及び熱風発生室を内蔵するとともに、上記芳香発生室から送り出される霧化した香料組成物と、上記熱風発生室から送り出される熱風とを外部に排出する送風口を有することを特徴とするものである。

【0005】本発明に使用するオポボナックス樹脂から得られる精油は、公知の物質であって、フウロソウ目カンラン科の植物であるグラニアレス ブルセラセア コミフォラ エリスレア (*Graniales Burseraceae Commiphora erythraea*) の樹脂を有機溶媒で抽出して得られるオポボナ

ックス・レジノイド、オポボナックス・アブソリュート、粉碎した樹脂から水蒸気蒸留によって得られるオポボナックス・オイル等を指すが、その中でも、アルコールで抽出してフロンガスで処理を行ったオポボナックス・アブソリュートが特に好ましい。

【0006】また、本発明に使用するミル樹脂から得られる精油は、公知の物質であって、フウロソウ目カンラン科ミラルノキ属グラニアレス ブルセラセア コミフォラ (*Graniales Burseraceae Commiphora*) の樹皮から滲出した樹脂を有機溶媒で抽出して得られるミル・レジノイド、ミル・アブソリュート、粉碎した樹脂から水蒸気蒸留によって得られるミル・オイル等である。

【0007】同様に、本発明に使用するオリバナム樹脂から得られる精油は、公知の物質であって、フウロソウ目カンラン科ボスウエリア属グラニアレス ブルセラセアボスウエリア (*Graniales Burseraceae Boswellia*) の植物の樹皮から滲出した樹脂を有機溶媒で抽出して得られるオリバナム・レジノイド、オリバナム・アブソリュート、粉碎した樹脂から水蒸気蒸留によって得られるオリバナム・オイル等である。

【0008】また、本発明に使用する香料成分は、シトラスベース、ミュゲベース、ローズベース、ジャスミンベース及びムスクベースといった明るく軽い芳香を有する香料成分である。例えば、シトラスベースはリモネン、シトラール、リナロール、リナリルアセテート等からなり、ローズベースはフェニルエチルアルコール、シトロネロール、ゲラニオール等からなり、ジャスミンベースはベンジルアセテート、メチルディヒドロジャスモネート、ヘキシルシンナミックアルデヒド等からなり、ムスクベースはギャラクソリッド、ムスクトン、シクロペンタデカノール等からなるものである。

【0009】これらの香料成分は、香料組成物に保留性やこくを与え、またトップノート、アディノート、ラストノート等をうまく組み合わせることによって、経時的にも魅力のある香りにすることのできるものである。

【0010】そして、本発明に用いる香料組成物は、上記のオポボナックス樹脂、ミル樹脂及びオリバナム樹脂の群より選択される1種以上の樹脂から得られる精油に、上記の香料成分の1種以上を加えることによって調整される。

【0011】この香料組成物は、オポボナックス樹脂、ミル樹脂及びオリバナム樹脂の群より選択される樹脂から得られる精油が少量で長時間にわたって靴臭と足臭のマスキング効果を発揮するものであるため、従来の香料にみられた重く暗く力強い香りとは異なり、弱い香り（自然で軽く明るい香り）、例えばローズ、カーネーション、ジャスミン、ミュゲ（スズラン）等のシングルフローラル、フローラルブーケ、フローラルアルデヒ

ド、フローラルグリーン、シプレー、オリエンタル、シトラス調の香調でも処方組めるといふ利点を有している。

【0012】また、この香料組成物には、水、エタノール、界面活性剤等を配合し希釈するとともに、上記香料成分の組成比の調整のためにジエチルフタレート等の希釈剤を適宜配合して使用することもできる。この界面活性剤は、陰イオン性界面活性剤、陽イオン性界面活性剤、両イオン性界面活性剤及び非イオン性界面活性剤の中から香料組成に応じて選択し、単独でまたは複数組み合わせたものとして用いることができる。

【0013】そして、上記オポボナックス樹脂、ミル樹脂及びオリバナム樹脂の群より選択される1種以上の樹脂から得られる精油の含有量は、香料組成物を基準として0.1~30重量%（以下wt%と略記する）、好ましくは0.5~5wt%とする。即ち、これが0.1wt%未満では靴臭と足臭のマスクング効果が不充分なものとなり、逆に30wt%を越えると香料成分の芳香性が低下し、オポボナックス樹脂、ミル樹脂あるいはオリバナム樹脂の精油特有の香りが強調されすぎて好ましくないからである。また、靴乾燥器に内蔵されるヒーターや熱風により香料組成物が発火することのないように、希釈剤として水80~90wt%、エタノール10~19wt%、界面活性剤0.5wt%~5wt%の組成比のものを用いることが好ましい。

【0014】

【実施例】以下、本発明の靴乾燥器の実施例を図面に基き説明する。

【0015】図1は、本発明の靴乾燥器の一実施例を上方から見た外観斜視図、図2はその部分断面図である。図1に示すように、この靴乾燥器(1)は、基台となる本体ケース(2)の上面から上方に2つの送風口(3)を突出させるとともに、電源のON・OFF及び送り出される風の強さ(強・中・弱)を選択するための制御ダイヤル(4)を設けた構成となっている。

【0016】そして、本体ケース(2)の内部は、図2に示すように、底部に熱風発生室(5)を設けるとともに、この熱風発生室(5)の上部に芳香発生室(6)を設けた構造となっている。

【0017】上記熱風発生室(5)は、ファン(7)と、このファン(7)を駆動するファンモーターとを収容するとともに、熱風発生室(5)から上記送風口(3)へとつながる左右の熱風用風路(8)の入口部に風加熱用のヒーター(9)を配設してなるものである。

【0018】また、上記芳香発生室(6)は、供給口(11a)から供給された香料組成物(10)を貯留する貯液槽(11)と、貯液槽(11)に連通する定量ポンプ(12)と、定量ポンプ(12)の下に連結され、定量ポンプ(12)から定量供給される上記香料組成物(10)を霧化する超音波振動子(13)と、香料用フ

ァン(14)と、この香料用ファン(14)を駆動するファンモーターとを収容してなるものである。そして、この芳香発生室(6)からは、上記熱風用風路(8)と隣接して上記送風口(3)へと到る香料用風路(15)がつながっている。

【0019】このように構成された靴乾燥器は、次のように使用する。まず、上方に突出している送風口(3)を靴の内部に挿入して靴を立て掛けた状態とする。そして、制御ダイヤル(4)を回して電源をON状態にすると、貯液槽(11)から定量ポンプ(12)により定量排出される香料組成物(10)が、定量ポンプ(12)の下に連結された超音波振動子(13)の上に滴下し、その香料組成物(10)が超音波振動子(13)によって霧化される。霧化された香料組成物は、香料用ファン(14)によって香料用風路(15)に送り込まれ、この香料用風路(15)を通過して送風口(3)に到達する。

【0020】一方、熱風発生室(5)においては、ファン(7)の駆動により送り出される風がヒーター(9)を経由して熱風となり、左右の熱風用風路(8)を通過して送風口(3)に到達する。そして、この送風口(3)において、上記のように霧化された香料組成物と熱風とが合流し、送風口(3)に立て掛けられた靴の内部に送風されるのである。

【0021】尚、上記の貯液槽(11)には、靴臭と足臭のマスクング効果を付与するオポボナックス樹脂、ミル樹脂及びオリバナム樹脂の群から選択される1種以上の樹脂から得られる精油と、シトラスベース、ミュゲベース、ローズベース、ジャスミンベース、ムスクベースの香料成分の1種以上とを含有する香料組成物を貯液するが、この実施例では、オポボナックスアブソリュートフレオンガス抽出物0.3wt%、ミルオイル0.1wt%、オリバナムアブソリュート0.1wt%、シトラスベース30wt%、ミュゲベース30wt%、ジャスミンベース19wt%、ムスクベース20wt%及びジエチルフタレート0.5wt%からなる香料組成物を用いた。そして、この香料組成物1wt%を、水88wt%、エタノール10wt%、及び陽イオン性と陰イオン性の界面活性剤(1:1)1wt%の組成比で希釈したものを貯液槽(11)に供給したところ、靴乾燥時に靴臭が発生することなく、且つ靴に足臭のマスクング効果を付与することができ、充分なる効果が得られることが確認された。

【0022】

【発明の効果】以上の記載の如く、本発明の靴乾燥器は、オポボナックス樹脂、ミル樹脂及びオリバナム樹脂の群より選択される1種以上の樹脂から得られる精油と、シトラスベース、ミュゲベース、ローズベース、ジャスミンベース、ムスクベースの香料成分とを含有してなる香料組成物を霧化するための超音波振動子を有する

5

6

芳香発生室と熱風発生室とを内蔵してなり、上記香料組成物を効果的に靴の内部へ送り込むことができるため、靴を乾燥する際に靴臭を完全にマスキングし悪臭の発生を防止するとともに、香料組成物が靴に吸着して優れた足臭マスキング効果を奏する理想的な靴乾燥器である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の靴乾燥器の一実施例を示す外観斜視図である。

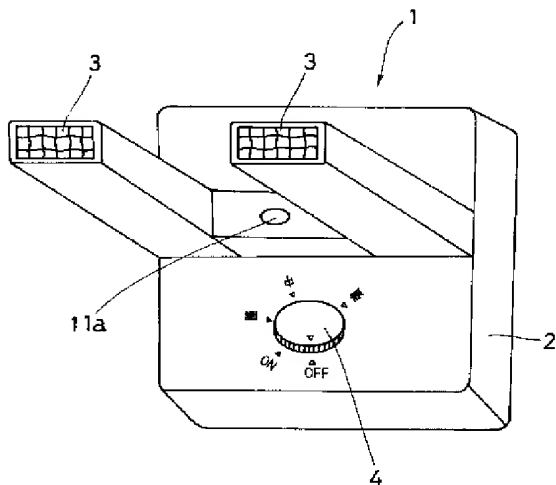
【図2】 図1の靴乾燥器の内部構造を示す断面図であ

る。

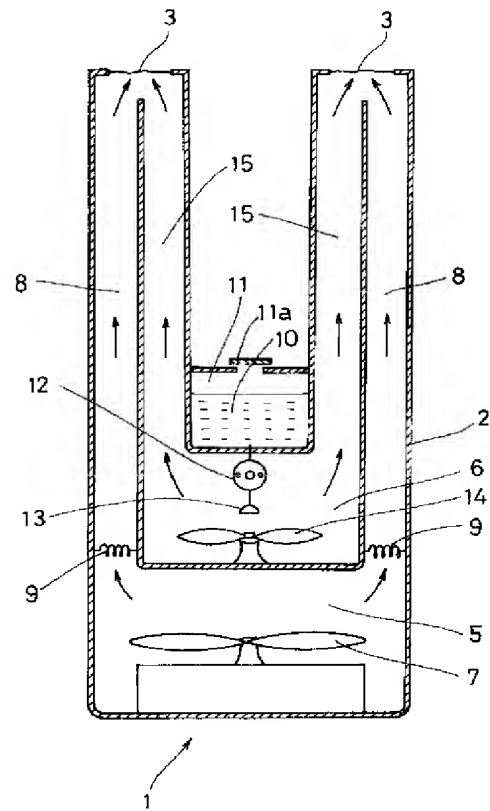
【符号の説明】

- 1 靴乾燥器
- 2 本体ケース
- 3 送風口
- 5 熱風発生室
- 6 芳香発生室
- 10 香料組成物
- 13 超音波振動子

【図1】



【図2】



**PAT-NO:** JP406181878A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 06181878 A  
**TITLE:** SHOES DRYING DEVICE  
**PUBN-DATE:** July 5, 1994

**INVENTOR-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
SAKURAI, NORIHIKO	
SAWADA, KAZUHIKO	

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
KANEBO LTD	N/A

**APPL-NO:** JP04354445  
**APPL-DATE:** December 15, 1992

**INT-CL (IPC):** A47L023/20 , A43D095/10

**US-CL-CURRENT:** 15/DIG.7

**ABSTRACT:**

**PURPOSE:** To provide shoes drying device which prevents the malodors generated at the time of drying shoes and imparts an effect of masking foot smells to the shoes.

**CONSTITUTION:** This shoes drying device contains an aroma generating chamber 6 disposed with an

ultrasonic vibrator transducer 13 for atomizing a perfume compsn. 10 contg. essential oil obtd. from  $\geq 1$  kind of resin selected from the group consisting of an opoponax resin, mill resin and olibanum resin and  $\geq 1$  kind of perfume component of a citrus base, muget base, rose base and jasmine base and a hot air generating chamber 5. The shoes drying device has a blast port for discharging its atomized perfume compsn. to be delivered from the aroma generating chamber and the hot air delivered from this hot air generating chamber to the outside.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio